

沖縄県は毎年6月23日を太平洋戦争における沖縄戦の終結した日として、慰霊の日に制定しています。

**戦争は最大の差別で、
最大の人権侵害といわれています。**
戦後70年…『平和』について考えてみませんか

へいわって すてきだね

へいわって なにかな。

ぼくは、かんがえたよ。

おともだちと なかよし。

かぞくが、げんき。

えがおで あそぶ。

ねこが わらう。

おなかが いっぱい。

やぎが のんびり あるいてる。

けんかしても

すぐ なかなおり。

ちょうめいそう※が たくさん はえ、

よなぐにうまが、ヒヒーンと なく。

みなとには、フェリーが とまっけていて、

うみには、かめやかじきが およいでる。

やさしいところが にじになる。

へいわっていいね。

へいわってうれしいね。

みんなのここから、

へいわがうまれるんだね。

※セリ科の植物

せんそうは、おそろしい。

「ドドーン、ドカーン。」

ばくだんがおちてくる こわいおと。

おなかがすいて、くるしむこども。

かぞくが しんでしまって なくひとたち。

ああ、ぼくは、へいわなときにうまれて

よかったよ。

このへいわが、ずっとつづいてほしい。

みんなのえがおが、ずっとつづいてほしい。

へいわな かぞく、へいわな がっこう、

へいわな よなぐにじま、

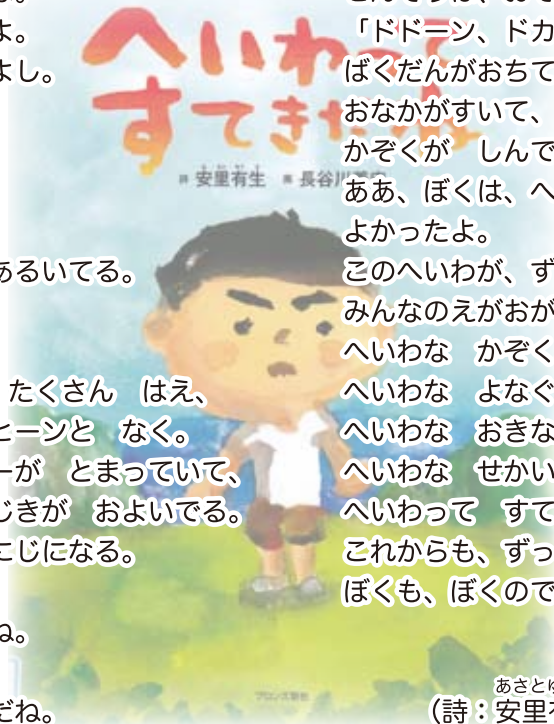
へいわな おきなわ、

へいわな せかい、

へいわって すてきだね。

これからも、ずっと へいわが つづくように

ぼくも、ぼくのできることから がんばるよ。



あさとゆうき
(詩：安里有生 出版社：ブロンズ新社)

この詩は、沖縄県与那国町立久部良小学校1年生(当時)の、安里有生くんが書いた「へいわってすてきだね」という詩です。2013年6月23日、「沖縄全戦没者追悼式」で安里くんが朗読しました。

「平和」であることの良さを純粋に、素直に、受け止め、自分の思いや願いを力強く訴えようとしていることが伝わります。

1941年に始まった太平洋戦争。1945年になると日本の本土も攻撃され始め、沖縄では住民を巻き込んだ決戦となり、県民の4人に1人が命を奪われました。

また、8月には、広島、長崎に原爆が投下され、多くの尊い命が奪われました。このことを深く反省し、日本は、戦争をしないことを約束しました。理由があってもなくても、人を殺すということは間違いだからです。もう二度と、この間違いを犯してはいけません。「平和」のなかで、安全に安心して暮らせるこの当たり前のことを安里くんは、私たちに教えています。そして、「これからも、ずっと へいわが つづくように ぼくも、ぼくのできることから がんばるよ」…と。世界の平和を守るのは、私たち一人ひとりの「意志」です。